

研究に関する情報公開

＜人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針＞に基づき、研究の実施について情報を公開します。

★本研究に関するご質問等がありましたら下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。

★ご希望があれば、他の研究対象者[※]の方の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧いただくことができます。

★試料・情報が当該研究に用いられることについて、研究対象者若しくは研究対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には試料・情報を使用いたしませんので、その際は下記の＜お問い合わせ窓口＞までご連絡ください。その場合でも、研究対象者の方に不利益が生じることはありません。

＜研究課題名＞

MRI を用いた日本の小児における総胆管径の基準値の評価について電子カルテデータを用いた探索的研究

＜研究機関・研究責任者名＞

日本大学医学部附属板橋病院 小児外科（研究責任者）上原秀一郎

＜研究期間＞

承認日 ～ 令和 （西暦 2026）年 3 月 31 日

＜対象となる方＞

西暦 2014 年 1 月 1 日～西暦 2023 年 12 月 31 日の期間に当院で腹部 MRU を施行した 15 歳未満の小児

＜研究の目的＞

小児における年齢別の総胆管径の基準値は、膵・胆管合流異常研究会から「超音波検査による拡張胆管の年齢別参考値」として報告されています。しかし超音波検査では検査実施者によって測定結果に差が出る可能性があります。より客観的で再現性が高い基準値が求められています。海外において胆道疾患のない患者の MRI を用いて小児総胆管径の正常値を検討する研究が行われています。本邦においての MRI を用いた小児総胆管径の基準値の検討は行われていません。胆道疾患のない小児の尿路を評価することを目的に実施する腹部 MRI 検査である MR Urography(以下：MRU)画像から年齢別に総胆管径を測定することで本邦の小児の正常総胆管径を検討します。

＜研究の方法＞

診療記録をもとに評価項目に関する情報を収集します。検査項目：年齢、身長、体重、開腹手術歴の有無といった臨床情報を収集し、それぞれの患者さんのMRUで総胆管の最大短径を2名の医師によって測定を行います。そのデータをもとに年齢別の本邦の小児の正常総胆管径を導き出します。

＜研究に用いる試料・情報の項目＞

診療情報(年齢、身長、体重、基礎疾患など)と腹部 MRU の検査データを収集、解析し学会報告や論文発表に用います。個人が特定できない形でデータを 10 年間保管し適切に破棄します。

＜外部への試料・情報の提供の方法＞

外部への情報の提供はありません。

＜お問い合わせ窓口＞

日本大学医学部附属板橋病院（東京都板橋区大谷口上町 30-1）

外科学系小児外科学分野

氏名：上原秀一郎

電話：03-3972-8111 内線：(PHS) 2452